令和5年度診療科別目標発表

呼吸器外科

医師の紹介

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器外科

No.	氏名	役職等
1	江間　俊哉	科部長、科長兼務、がんゲノム医療センターがんゲノム医療室付科部長
2	大岩　宏聡	医長
3	上林　明日翔	医員
4	閏谷　洋	嘱託医師

診療実績等

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器外科

主な診療実績	R2	R3	R4
外来患者数	15．5人／日	15．2人／日	15．9人／日
入院患者数	12．0人／日	12．4人／日	9．2人／日
新入院患者数	24．3人／月	21．6人／月	20．5人／月
手術室手術件数	9．7件／月	8．5件／月	10．4件／月

DPC病名別症例数	R2	R3	R4
肺の悪性腫瘍	170人／年	157人／年	162人／年
気胸	31人／年	28人／年	32人／年
縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍	5人／年	8人／年	8人／年
肺炎等	5人／年	9人／年	4人／年
肺・胸部気管・気管支損傷	16人／年	7人／年	1人／年

※girasol抽出データ（MDC6分類）による

令和4年度までの診療実績

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器外科

肺癌・縦隔腫瘍ロボット支援手術の保険適用取得　（静岡県中部で初）

2021年9月より**手術支援ロボット「ダビンチ」**を使った**肺がん・縦隔腫瘍**の手術を実施。

2022年8月より手術支援ロボット「ダビンチ」を使った肺がん・縦隔腫瘍の手術**保険診療**を開始。

呼吸器外科手術では県中部の医療機関で初めての保険適用である。
（2023年9月現在、県中部では唯一の実施施設）

肺がんロボ手術 保険適用
藤枝市立総合病院 県中部で初

藤枝市立総合病院は8月から、手術支援ロボット「ダビンチ」を使った肺がんの手術について、保険診療を開始した。同病院でのがんなどの腫瘍に対するロボット手術の保険適用は縦隔腫瘍、前立腺がんに続き3例目。このうち肺がん、縦隔腫瘍は県中部の医療機関では初めての保険適用になる。

同病院は2021年4月に患者への負担が少ない「低侵襲」の手術室2部屋を整備した。ともに開腹を伴わない鏡視下手術を行い、うち1部屋に「ダビンチ」を導入した。

手術支援ロボット「ダビンチ」。患者への負担が少ない手術が可能になる＝藤枝市立総合病院

臨床例を重ねたことなどにより、3種類の腫瘍のロボット手術に関して国から保険請求が認められた。

中村利夫院長は「保険診療が始まったことで、より高精度で負担の少ない手術ができるようになった。今後も地域がん診療連携拠点病院として専門的ながん医療の提供に努める」とコメントした。（藤枝支局・岩下勝哉）

お茶染めのバッグ制作
島田

島田市のふじのくに茶の都ミュージアムはこのほど、茶葉を使った「お茶染め」でマルシェバッグを作る体験

2022年9月以降は術者2名体制でロボット手術を実施している。

（2022年8月18日静岡新聞）

中期目標・令和8年度に目指す姿

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器外科

がん診療を中心とした地域医療への貢献

- ロボット支援手術を中心とした低侵襲治療を確立する。
- 呼吸器外科領域の基幹施設としての機能を維持・強化する。
- 呼吸器外科専門医、ロボット支援手術施行医の育成に注力する。

短期目標・令和5～6年度の目標

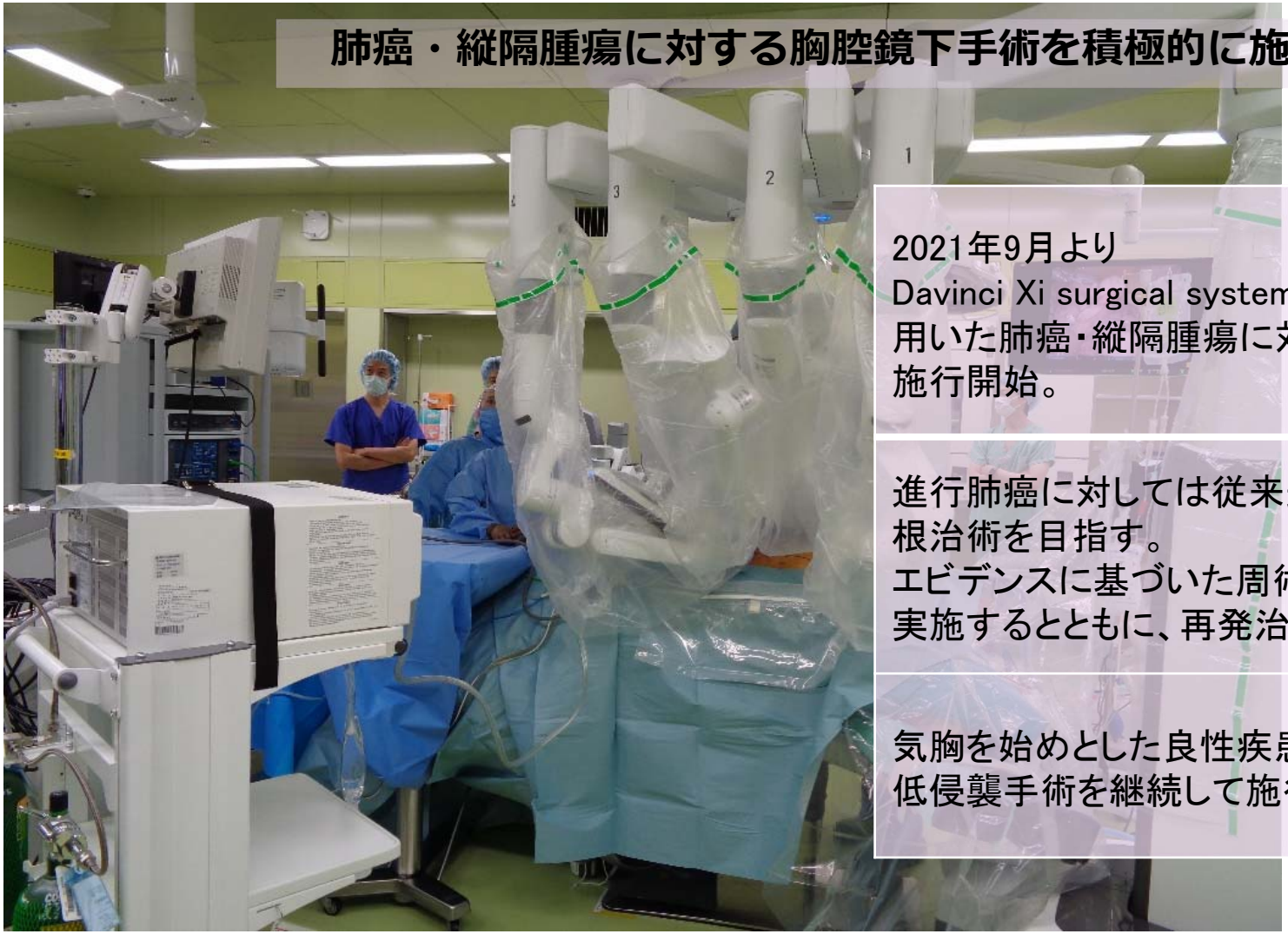
藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器外科

No.	項目	目標
1	肺癌に対する低侵襲治療の充実	ロボット支援手術の拡充
2	進行肺癌に対する集学的治療の実施	低侵襲手術・開胸手術に加え、各科と連携し化学療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療を継続する。
3	縦隔腫瘍、気胸などの良性疾患、外傷診療の充実	縦隔腫瘍に対するロボット支援手術や、気胸に対する胸腔鏡下手術を継続して実施。その他手術を要する良性疾患・外傷に素早く対応する。
4	研修制度の充実	研修医、専攻医の教育 ロボット支援手術施行医の育成

呼吸器外科

県中部唯一のロボット支援下呼吸器外科手術（肺癌・縦隔腫瘍）施行施設



肺癌・縦隔腫瘍に対する胸腔鏡下手術を積極的に施行

2021年9月より
Davinci Xi surgical system（ダビンチ）を
用いた肺癌・縦隔腫瘍に対する胸腔鏡下手術を
施行開始。

進行肺癌に対しては従来通りの開胸手術により
根治術を目指す。
エビデンスに基づいた周術期補助化学療法を
実施するとともに、再発治療にも注力する。

気胸を始めとした良性疾患に対する
低侵襲手術を継続して施行する。

決　　意

・低侵襲肺がん治療の継続（ロボット支援下手術）

・その他良性疾患・縦隔腫瘍等への対応を通じ、
地域に根差した診療を目指します。